

再生医療臨床応用実用化推進事業 応募申請書

平成____年____月____日

厚生労働省
医政局研究開発振興課長 殿

住 所 〒_____

機関代表者氏名 _____ 印

再生医療臨床応用実用化推進事業を実施したいので

次のとおり応募申請書を提出する。

1. i P S細胞等の取扱経験

・貴機関におけるi P S細胞等の取扱経験を600字以内で簡潔に記入すること。

2. 臨床応用の指導経験

・貴機関における臨床応用の指導経験を600字以内で簡潔に記入すること。

3. 事業者の受入体制

- (1) 貴機関における本事業の受入体制を600字以内で簡潔に記入すること。
- (2) 本事業に必要な機能を事業責任者等のもと機関全体で確保できることが分かるように記入すること。

4. 事業の概要

- (1) 「5. 事業計画・方法」及び「6. 事業の目的及び必要性を踏まえた特色・独創的な提案」の要旨を600字以内で簡潔に記入すること。
- (2) 事業全体の計画が分かるように記入すること。
- (3) 事業の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。

(流れ図)

5. 事業計画・方法

- (1) 事業目的を達成するための具体的な事業計画及び方法を1,600字以内で記入すること。
- (2) 事業計画を遂行するための事業体制について、具体的な役割を明確に記入すること。

6. 事業の目的及び必要性を踏まえた特色・独創的な提案

- ・事業の目的及び必要性を踏まえ、特色・独創的な提案があれば、1,000字以内で具体的かつ明確に記入すること。

7. 倫理面への配慮

- ・貴機関における研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を600字以内で簡潔に記入すること。

8. 当該事業を実施する者の経歴等

氏 名	役 職
担 当 業 務	
本事業に関連する経歴等	

氏 名	役 職
担 当 業 務	
本事業に関連する経歴等	

氏 名	役 職
担 当 業 務	
本事業に関連する経歴等	

作成上の留意事項

日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。

対象経費の支出予定額算出内訳

申請機関名

区 分	支出予定額	算 出 内 訳
需用費 消耗品費	円	
備品購入費	円	
備品の設置に要する 工事費・工事請負費	円	
合 計	円	